

KN グローカルリサーチレポート

2017年4月
No.12



桜の舞う新年度となりました。皆様の職場やご家庭などで、新生活をスタートされた方もいらっしゃると思います。会社でも新規事業をスタートしたり、既存の仕組みやシステムなどをリニューアルする取り組みも多いかと思えます。新たな気持ちで出発&挑戦です。

浜松市の新年度予算

出所)浜松市の当初予算資料より

浜松市の 29 年度予算は、一般会計で 3,264 億円となっており、過去最大の規模となった。

【市税 浜松地域の社会経済活動を反映】

市民が納税する市税は 1,303 億円となっており、個人市民税は 473.5 億円で給与所得の増加を見込んでいるが、法人市民税は 101.8 億円と近年は減少傾向にある。法人市民税の還元で、浜松地域の企業活動を活性化させ、企業の収益が上がるようにする行政の役割が求められる。

固定資産税は 533.6 億円で新增築の家屋の増加による。

軽自動車税は四輪軽自動車 183,900 台などで 20 億円を見込み、この税収は年々増加している。市たばこ税は

9 億 4,100 万本の「たばこ」から 48.7 億円を見込む。入湯税は 868,000 人から 1.3 億円を見込み、NHK 大河ドラマ「直虎」の観光客に期待がかかる。

■市税(億円)	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
市民税(個人)	432.0	412.0	442.4	456.8	455.8	469.8	473.5
市民税(法人)	92.5	104.8	96.2	112.2	117.3	102.9	101.8
市民税合計	524.6	516.8	538.7	569.0	573.1	572.7	575.3
固定資産税	529.9	499.9	501.1	514.2	517.3	521.3	533.6
都市計画税	72.7	69.2	69.5	71.8	71.8	72.5	73.9
事業所税	37.9	42.4	48.2	49.8	49.2	49.1	49.9
軽自動車税	14.4	14.7	15.1	15.7	16.4	17.9	20.0
市たばこ税	44.2	41.7	50.1	52.0	50.7	49.8	48.7
入湯税	1.0	1.0	1.1	1.2	1.2	1.3	1.3

【自主財源比率の低下】

歳入に占める市税の割合は 39.9 % で、自主財源は 48.8%(1,595 億円)となっており、歳入の半分は国や県などに依存している。

9 年前の平成 20 年度の自主財源は 1,631 億円で歳入に占める割合は 60.7%であったので、浜松市が独自で行う事業の選択肢の幅は年々狭くなってきている。

市債は 356 億円と前年比 59 億円の増加で歳入の 10.9%となっている。市債残高は 4,754 億円と前年比 71 億円の減少で、市民一人当たりになると 59.1 万円となる。



(億円、%)	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
一般会計歳入	2,668	2,546	2,660	2,750	2,692	2,704	2,741	2,949	2,952	3,264
市税	1,372	1,270	1,185	1,225	1,186	1,224	1,274	1,280	1,285	1,303
自主財源比率	61.1	60.9	54.7	54.8	56.6	55.1	56.1	54.4	53.6	48.8
市債残高	5,380	5,291	5,225	5,212	5,074	5,034	4,904	4,755	4,825	4,754

***** ～～ バンコクの風 ～～*****

日本人にとって文化的に衝撃を受けるとき、タイに駐在する日本人のあいだでは「アメージングタイランド！」と言います。いい意味でも悪い意味でもタイの柔軟性を表した言葉です。

この写真は、バンコクの、あるお寺に装飾されているものです。どう見ても「ピカチュウ」です。このお寺には「亀仙人」や「ケロロ軍曹」などのモチーフもあります。

他にも「ドラえもん」だらけのお寺だとか、日本では考えられないお寺がたくさんあります。(バンコク・影山)

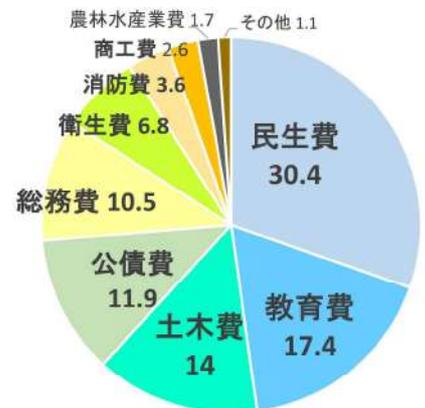


【税金の使い道】

私たちが納める税金、皆さんはどのように使って欲しいとお考えですか？ 29年度の浜松市の歳出予算を見ると、人件費（市職員や小中学校の先生等）に 807 億円(24.7%)、扶助費（社会保障制度の給付等）に 672 億円(20.6%)、投資的経費（土木や建設等）に 440 億円(13.5%)、物件費（システム運用や備品購入等）に 425 億円(13%)、公債費（地方債の元利償還等）に 386 億円(11.8%)となっている。

別の視点で事業別に見ると、民生費（福祉や生活等）に 992 億円(30.4%)、教育費に 568 億円(17.4%)、土木費に 457 億円(14%)、公債費に 386 億円(11.9%)、総務費 344 億円(10.5%)、衛生費 223 億円(6.8%)、消防費 119 億円(3.6%)、商工費 84 億円(2.6%)、農林水産業費 56 億円(1.7%)となっている。

29年度の特徴として、小中学校の先生の人件費等が、県の負担から政令市の負担となったため、人件費と教育費が前年より約 300 億円増えている。



【お役立ち セミナー】 (QRコードから、事前に、主催者に、お申し込み下さい)

○「浜松市新産業創出事業費 補助金」説明会 主催: 浜松市

・日時 平成29年4月5日(水) 14:00～16:30 @浜松市役所 8階



○「海外ビジネスチャレンジ」セミナー 主催: えんしん経営者クラブ

・日時 平成29年4月18日(火) 14:00～17:00 @ホテルコンコルド浜松 2階



○「トヨタ自動車の知的財産戦略」講演会 主催: 静岡県発明協会

・日時 平成29年4月19日(水) 13:30～16:30 @静岡市産学交流センター



○「中小企業 海外展開 支援事業 紹介」セミナー 主催: 浜松市

・日時 平成29年4月24日(月) 13:30～16:40 @浜松商工会議所 10階



執筆 = 西川公一郎 : 元浜松市議会議員、防災士

(公社)子どもの発達科学研究所 事務局長

(一財)日本総合研究所 客員研究員

浜松市中区 在住 ko-ichi@24kawa.org